

I 令和2年度事業報告

1 会員の異動

令和3年3月31日現在の会員数は下表のとおりである。

府県別 会員別	滋賀県	京都府	大阪府	兵庫県	奈良県	和歌山県	近畿以外	合 計
個人会員	19(+1)	35(+1)	25(+1)	31(-1)	8(-3)	35(-5)	16(-2)	169(-8)
単協	0(0)	6(0)	1(0)	2(0)	0(0)	1(0)	0(0)	10(0)
中央会	13(0)	6(+1)	15(-1)	23(-2)	5(-2)	10(-4)	0(0)	72(-8)
連合会	0(0)	17(0)	1(0)	1(0)	2(-1)	24(-1)	0(0)	45(-2)
府県庁	0(0)	1(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	1(0)
大学等	6(+1)	5(0)	8(+2)	5(+1)	1(0)	0(0)	16(-2)	41(+2)
団体会員	13(0)	9(0)	13(0)	13(0)	3(0)	10(0)	16(0)	77(0)
単協	9(0)	5(0)	9(0)	9(0)	1(0)	6(0)	0(0)	39(0)
中・連合会	4(0)	4(0)	4(0)	4(0)	2(0)	4(0)	0(0)	22(0)
全国連	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	5(0)	5(0)
准会員	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	11(0)	11(0)
合 計	32(+1)	44(+1)	38(+1)	44(-1)	11(-3)	45(-5)	32(-2)	246(-8)

注) () 内は、前年度末会員数との増減を示す。

2 令和2年度に開催した研究例会

当初の事業計画では開催を計画していた緊急特別例会を、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とし、研究例会2回を開催した。

今年度の研究会は、年間統一テーマを「JAの社会的価値の再考」として取り組んだ。

研究例会の具体的なテーマとして、農業・食料問題解決に果たすべきJAの使命と役割、暮らし・地域活性化に果たすべきJAの使命と役割を取り上げた。

研究例会

回数	開催月日 開催場所	研究会テーマおよび 座長とコメンテーター	報告テーマと報告者	出席者数
第1回 例会 通算第 266回 研究会	令和2年 11月9日 (月) 大津市 滋賀県農 業教育情 報センタ ー	「農業・食料問題解決に果たすべ きJAの使命と役割を再考する」 (座長) 摂南大学 農学部 教授 北川 太一 氏 (コメンテーター) 龍谷大学 農学部 准教授 山口 道利 氏 京都府農業協同組合中央会 農業対策部長 田井 義浩 氏	報告Ⅰ 「新基本計画にみる地域農業の課 題とJAの役割」 東京大学名誉教授 谷口 信和 氏 報告Ⅱ 「組合員・地域住民を守るために わがJAが果たす役割—直売所 による取り組みを中心に—」 滋賀県 グリーン近江農業協同組 合 常務理事 中江 吉治 氏	61名
第2回 例会 通算第 267回 研究会	令和3年 2月15日 (月) WEB開 催	「暮らし・地域活性化に果たすべ きJAの使命と役割を再考する」 (座長) 摂南大学 農学部 教授 北川 太一 氏 (コメンテーター) 京都大学 学術情報メディアセン ター 准教授 仙田 徹志 氏 兵庫県農業協同組合中央会 経営相談部長 竹中 貴文 氏	報告Ⅰ 「JAの『くらしの活動』を核と した地域活性化の実現に果たす JAの役割」 東京農業大学 国際食料情報学部 教授 上岡 美保 氏 報告Ⅱ 「暮らしを守り地域活性化を図る ためにわがJAが果たす役割 —『くらしの活動』による取り 組みを中心に—」 京都府 京都丹の国農業協同組合 企画管理部長 深井 忠進 氏	55名

注) 第2回例会は、新型コロナウイルス感染症感染拡大による緊急事態宣言を受け、WEB開催とした。出席者数は、WEB上での参加者数である。

【参 考】 令和2年度研究例会出席者数の内訳

		総 数	近畿内・近畿外別		所属別		
			近畿内	近畿外	単 協	中央会 連 合 会	研究者等
第1回 例 会	実 数(人)	61	60	1	23	27	11
	構成比(%)	100.0	98.4	1.6	37.7	44.3	18.0
第2回 例 会	実 数(人)	55	40	15	11	23	21
	構成比(%)	100.0	72.7	27.3	20.0	41.8	38.2
合 計	実 数(人) (1回当たり)	115 (58)	99 (50)	16 (8)	34 (17)	49 (25)	32 (16)
	構成比(%)	100.0	86.1	13.9	29.6	42.6	27.8

注) 第2回例会の実数は、WEB上での参加者数である。

3 会報の発行等

(1)会報の発行

本年度分の会報の発行は下表のとおりである。

会報番号	テーマ	発行年月	発行部数	備考
266	「農業・食料問題解決に果たすべき J A の使命と役割を再考する」	令和 3 年 2 月	320	令和 2 年度 第 1 回研究例会記録
267	「暮らし・地域活性化に果たすべき J A の使命と役割を再考する」	令和 3 年 4 月	320	令和 2 年度 第 2 回研究例会記録

(2)ホームページの運営

平成26年度から運用しているオリジナルホームページを通じて、例会の開催案内をはじめとする情報発信を行うとともに、各府県農協中央会の協力を得て、近畿地区の四季の風景をトップページに活用し、魅力あるページづくりを行った。その結果アクセス件数は11,549PVであった（昨年度は6,306PV）。

4 研究会運営記録

開催月日	会議名	会場	報告および協議事項
令和 2 年 5 月 12 日 (火)	第 1 回 事務局会議	書面開催	①事務局の役割分担と主要業務について ②ホームページのスライド画像の更新について ③代表者の互選、顧問の委嘱、監事の指名、事務局長等の指名について ④令和元年度事業報告（素案）について ⑤令和元年度収支決算報告（素案）について ⑥令和 2 年度事業計画（素案）について ⑦令和 2 年度予算計画（素案）について ⑧緊急特別例会開催要領（素案）について ⑨新型コロナウイルスに係る研究会の対応（素案）について

開催月日	会議名	会場	報告および協議事項
5月19日(火)	第1回 運営委員会	書面開催	①運営委員の選出結果について ②代表者の互選について ③顧問の委嘱について ④監事の指名について ⑤事務局長の指名について ⑥令和元年度事業報告(案)の承認について ⑦令和元年度収支決算報告(案)の承認について ⑧令和2年度事業計画(案)の承認について ⑨令和2年度予算計画(案)の承認について ⑩緊急特別例会開催要領(案)について ⑪新型コロナウイルス感染拡大に係る研究会の対応について
6月30日(火)	—	—	第1回会費の納入期限 近畿府県中央会・連合会個人会員取りまとめ期限
7月20日(月)	第2回 事務局会議 出席：9名	滋賀県農業教育 情報センター	①会員の異動について ②ホームページのスライド画像の更新について ③第2回運営委員会の出欠報告状況について ④第1回研究例会の開催要領の検討について
8月4日(火)	第2回 運営委員会	書面開催	第1回研究例会の開催要領(案)について
7月31日(金)	—	—	第2回会費の納入期限 (近畿地区中央会・連合会個人会員)
9月30日(水)	—	—	会費の納入督促(第1回)
10月27日(火)	第3回 事務局会議 出席：9名	京都JAビル	①会員の異動について ②第1回研究例会の参加申し込み状況について ③第1回研究例会の運営について ④ホームページのスライド画像の更新について ⑤第3回運営委員会の出欠報告状況について ⑥第2回研究例会の開催要領の検討について
11月9日(月)	第1回 研究例会 出席：61名	滋賀県農業教育 情報センター	テーマ「農業・食料問題解決に果たすべきJAの 使命と役割を再考する」

開催月日	会議名	会場	報告および協議事項
11月9日(月)	第3回 運営委員会 出席：17名 (うち、 委：8名 代：0名)	滋賀県農業教育 情報センター	①第1回研究例会の参加者数について ②会員の異動について ③第2回研究例会の開催要領(案)について
令和3年 1月29日(金)	—	—	会費の納入督促(第2回)
2月1日(月)	第4回 事務局会議 出席：8名	WEB開催	①会員の異動と加入状況について ②会費の納入状況について ③会報の発行状況について ④WEBサイトへのアクセス状況について ⑤第2回研究例会の参加申し込み状況について ⑥第2回研究例会の運営について ⑦ホームページのスライド画像の更新について ⑧顧問・運営委員アンケートについて
2月9日(火)	WEBテスト	—	第2回研究例会の報告者、コメンテーターとの打ち合わせ
2月10日(水)	WEBテスト	—	第2回研究例会の報告者、コメンテーターとの打ち合わせ
2月15日(月)	第2回 研究例会 出席：54名	WEB開催	テーマ「暮らし・地域活性化に果たすべきJAの 使命と役割を再考する」
	第4回 運営委員会 出席：19名 (うち、 委：2名 代：1名)	WEB開催	①第2回研究例会の参加者数について ②会員の異動について ③会費の納入状況について ④顧問・運営委員アンケートの実施について
3月22日(月)	第5回 事務局会議 出席：9名	WEB開催	①令和2年度事業報告(素案)について ②令和2年度決算報告(素案)について ③ホームページのスライド画像の更新について ④次年度の研究会運営に向けて ・顧問・運営委員アンケート結果について ・研究例会参加者アンケート結果について
4月9日(金)	監事監査	JAビル滋賀 京都JAビル	令和2年度事業報告(案)・収支決算報告(案) の監査並びに帳簿等の監査

注1) 運営委員会の定足数は、定数22名の過半数である。

注2) 運営委員会の出席者数は、顧問・監事・事務局長を除いた運営委員のみの出席者数(委任状及び代理出席を含む)を示している。また、()内の「委」は委任状を、「代」は代理出席を表している。

II 令和2年度収支決算報告

1 収支決算書

(令和2年4月1日から令和3年3月31日まで)

(1)収入の部

(単位：円)

	予算額 (a)	決算額 (b)	比較増減額 (b-a)	摘要
会費	3,007,000	2,975,000	-32,000	
全国連会費	440,000	440,000	0	注1) 参照
府県連会費	1,100,000	1,100,000	0	注2) 参照
単協会費	649,000	649,000	0	注3) 参照
個人会費	708,000	676,000	-32,000	注4) 参照
准会員会費	110,000	110,000	0	注5) 参照
会報頒布収入	20,000	2,000	-18,000	
資料代収入	500,000	126,000	-374,000	
雑収入	1,000	17	-983	注6) 参照
前年度繰越金	644,732	644,732	0	
合計	4,172,732	3,747,749	-424,983	

注1) 110,000円×1団体、100,000円×1団体、90,000円×1団体、70,000円×2団体

注2) 50,000円×22団体(府県連12+府県本部10)

注3) 36,000円×1団体、25,000円×1団体、18,000円×4団体、15,000円×2団体、
12,000円×3団体、農業開発研修センター会費助成450,000円(28団体)

注4) 4,000円×169名

注5) 10,000円×11団体

注6) 貯金利息

(2)支出の部

(単位：円)

	予算額 (a)	決算額 (b)	比較増減額 (b - a)	摘 要
研究例会費	700,000	372,903	-327,097	
会場費	160,000	28,160	-131,840	会場借上料
交通費	250,000	213,520	-36,480	座長、報告者等の交通費等
通信費	40,000	28,263	-11,737	開催通知発送費
印刷費	180,000	90,200	-89,800	開催通知、レジュメ等の印刷費
雑費	70,000	12,760	-57,240	参加者飲料代等
研究大会費 (緊急特別例会費)	310,000	840	-309,160	
会場費	10,000	0	-10,000	会場借上料
交通費	150,000	0	-150,000	座長、報告者等の交通費等
通信費	20,000	840	-19,160	開催通知発送費
印刷費	90,000	0	-90,000	開催通知、レジュメ等の印刷費
雑費	40,000	0	-40,000	参加者飲料代等
運営委員会費	70,000	9,000	-61,000	
委員交通費	50,000	9,000	-41,000	
会議費	20,000	0	-20,000	会場借上料
会報費	1,010,000	614,900	-395,100	
印刷費	600,000	352,900	-247,100	
原稿整理費	180,000	120,000	-60,000	60,000×2回
編集校正費	150,000	100,000	-50,000	50,000×2回
執筆原稿費	80,000	42,000	-38,000	
事務局費	1,760,000	1,536,944	-223,056	
交通費	100,000	25,490	-74,510	農業開発研修センター事務局員等の交通費
通信費	190,000	160,398	-29,602	会報発送等の通信費、HP運営費
印刷費	80,000	39,050	-40,950	事業報告・計画書等の印刷費
事務委託費	1,290,000	1,290,000	0	農業開発研修センター等への支払い事務委託費
会議費	50,000	13,530	-36,470	事務局会議の会場代等
雑費	50,000	8,476	-41,524	監査経費等
予備費	322,732	0	-322,732	
合 計	4,172,732	2,534,587	-1,638,145	

(3)次年度繰越金 (単位：円)

収入の部合計	3,747,749
支出の部合計	2,534,587
次年度繰越金	1,213,162

2 貸借対照表

令和3年3月31日現在
(単位：円)

資 産		負 債 ・ 資 本	
科 目	金 額	科 目	金 額
現 金	0	未 払 金 ^{注2)}	215,300
J A京都信連 普 通 預 金	1,362,802	次 年 度 繰 越 金	1,213,162
ゆうちょ銀行 振 替 口 座	7,660		
未 収 金 ^{注1)}	58,000		
合 計	1,428,462	合 計	1,428,462

注1) 未収金……………令和2年度個人会費 8,000円
令和2年度府県連会費 50,000円

注2) 未払金……………会報費 印刷費 200,000円
事務局費 通信費 15,300円

監事の意見書

令和2年度の事業報告および収支決算報告書につき、令和3年4月9日に監査を行いました結果、事業運営は適切に行われ、収支決算についても、その内容は適正に処理されていることを認めます。

令和3年4月9日

監 事 小 西 忠 之 ⑩

監 事 大 西 敏 宏 ⑩

Ⅲ 令和3年度事業計画

1 基本方針

(1)研究例会及び研究大会の開催

① 年間統一テーマと研究例会

<年間統一テーマ>

昨年度に引き続いて「JAの社会的価値の再考」とする。特に今年度は、JAが農を起点にして組合員、地域住民とのつながりをどのように強化していくか、さらには総合農協としての強みをいかに発揮していくかを中心に、SDGs（持続可能な開発目標）の実践も視野に入れながら、以下のテーマで2回の研究例会を設定する。

<第1回研究例会>

テーマ：「持続可能な地域農業の実現に果たすJAの役割を考える」

多数の消費者を背後に持つ都市・都市近郊地域を念頭に置いて、組合員、地域住民が、地域の農業に積極的に関与する「住民参画型農業」実現の課題とJAの役割・方策について考える。

<第2回研究例会>

テーマ：「持続可能な農村社会の実現に果たすJAの役割を考える」

少子高齢化・人口減少が進む農山村（中山間）地域を念頭に置いて、地域資源の活用や関係（交流）人口の増加等を通じた農村活性化の課題とJAの役割・方策について考える。

② 研究大会

テーマ：「新型コロナ禍によるフードシステム問題への影響とアフター/ウィズコロナ時代を迎えたJAの対応策を考える」

昨年度、緊急特別例会として計画しながら中止した新型コロナ禍に関するテーマについて、農業・食料（フードシステム）問題を中心に取り上げる。その際、今秋開催される第29回JA全国大会決議の内容も念頭に置きながら、アフター/ウィズコロナ時代を迎えたJAの対応策について考える。

③ 研究会の位置づけ、運営について

研究会の報告者等については、研究例会では域内の実践家と研究者を中心に、研究大会では域外も視野に入れて選定する。

研究会の開催曜日・時間は、平日の午後1時～4時40分頃までとし、終了後に運営委員会を開催する。

なお、今年度も昨年度と同様、研究者の報告と実践家の報告の2報告とし、報告内容に基づいた積極的な質問・討論を促すために、それぞれについてコメンテーターを割り当てて、報告の直後に質問・コメント・討論を行う形式をとる。

④ 研究会の開催案内の充実

研究会の開催を広報するために、研究会ホームページへの掲載、学会メーリングリストの活用を行い、開催案内にはQRコードを掲載するなど参加申し込みの便宜をはかる。

⑤ 新型コロナウイルスの感染予防対策について

昨年度と同様、マスク着用と手指消毒の要請、参加人数の上限設定、密にならない座席指定と換気、マイクや机の消毒など予防対策を徹底して行う。また、今後の感染拡大の状況によっては、遠方の報告者のweb参加、研究会を完全web方式への切り替えを考える。開催方式の変更については、開催府県の意向も踏まえた上で、研究会開催の2～3か月前を目安に代表者が決定する。

(2)会報の定期発行と内容の充実

事務局内に編集担当者を置き、会報の定期発行に努める。また、引続き「会員の声」、「研究会に参加して」のコーナーを設け、会員参加による会報づくりに努めるとともに、会報の充実に努める。

(3)会員の維持・拡大と研究成果の普及

① 会員管理

2年を越えて会費未納となっている会員に対しては、会報の送付を停止するとともに、加入意思の確認を行い、会員管理を徹底する。

② 会員拡大

保管している会報の一部をPR誌として活用して、研究会活動の普及と併せて会員の拡大に積極的に努める。また、研究会開催案内やさまざまな機会を通じて、会員拡大に努める。

③ 会報頒布

研究例会・研究大会の研究成果を広く普及するために、会報の頒布に努力する。なお、非会員の報告者・コメンテーターにも活動内容のPRを踏まえ1年間会報を送る。

(4)会員の意向把握、情報発信、事務局会議の充実

① アンケートの実施

研究会参加者アンケートを実施して企画・運営に活かすとともに、集計の効率化をはかるために、WEBを使ったアンケート回答の収集を検討する。

② ホームページによる情報発信

オリジナルホームページを通じて、引き続き例会・大会の開催案内をはじめ研究会活動の情報発信を行う。なお、スマホ対応化については、状況変化を見極めながら検討することとする。

③ 事務局会議の充実

事務局会議の定期開催に努め、リモートによる会議を活用しながら、事務局会議の機能強化と業務の円滑化を図る。

本年度も引き続き、各府県中央会および(一社)農業開発研修センターに協力を依頼する。

2 実施計画

(1)研究例会の開催

☆年間統一テーマ「JAの社会的価値の再考」

回次	開催月日	テーマ（仮題）	会場
第1回研究例会 （通算第268回）	令和3年 8月5日(木)	持続可能な地域農業の実現に果たすJAの役割 を考える	神戸市
第2回研究例会 （通算第269回）	令和3年 11月11日(木)	持続可能な農村社会の実現に果たすJAの役割 を考える	和歌山市

注) 第1回研究例会のテーマは第1回運営委員会において、第2回研究例会のテーマは第2回運営委員会において、決定する。

(2)研究大会の開催

開催月日	会場	テーマ（仮題）	備考
令和4年 1月25日(火)	大阪市	新型コロナ禍によるフードシステム問題への 影響とアフター/ウィズコロナ時代を迎えたJA の対応策を考える	通算270回研究会

注) 研究大会のテーマは第3回運営委員会において、決定する。

(3)会報の発行予定

会報No.	発行予定年月	発行予定部数	備考
268	令和3年 11月上旬	300部	令和3年度第1回研究例会記録
269	令和4年 2月中旬	300部	令和3年度第2回研究例会記録
270	令和4年 4月下旬	300部	令和3年度研究大会記録

IV 令和3年度予算計画

(1)収入の部

(単位：円)

	予算額	摘要	前年度予算額
会費	2,913,000		3,007,000
全国連会費	440,000	注1) 参照	440,000
府県連会費	1,050,000	注2) 参照	1,100,000
単協会費	649,000	注3) 参照	649,000
個人会費	676,000	注4) 参照	708,000
准会員会費	110,000	注5) 参照	110,000
会報頒布収入	20,000		20,000
資料代収入	500,000	注6)	500,000
雑収入	1,000	貯金利息等	1,000
前年度繰越金	1,213,162		644,732
合計	4,659,162		4,172,732

注1) 110,000円×1団体、100,000円×1団体、90,000円×1団体、70,000円×2団体

注2) 50,000円×21団体（府県連12+府県本部9）

注3) 36,000円×1団体、25,000円×1団体、18,000円×4団体、15,000円×2団体、
12,000円×3団体、農業開発研修センター会費助成450,000円

注4) 4,000円×169名

注5) 10,000円×11団体

注6) 資料代単価は、個人会員2,000円、団体会員3,000円、非会員5,000円

(2)支出の部

(単位：円)

	予算額	摘要	前年度予算額
研究例会費	760,000		700,000
会場費	200,000	会場借上料	160,000
交通費	250,000	座長、報告者等の交通費等	250,000
通信費	60,000	開催通知発送費	40,000
印刷費	180,000	開催通知、レジュメ等の印刷費	180,000
雑費	70,000	参加者飲料代等	70,000
研究大会費	510,000		310,000
会場費	100,000	会場借上料	10,000
交通費	250,000	座長、報告者等の交通費等	150,000
通信費	30,000	開催通知発送費	20,000
印刷費	90,000	開催通知、レジュメ等の印刷費	90,000
雑費	40,000	参加者飲料代等	40,000
運営委員会費	70,000		70,000
委員交通費	50,000		50,000
会議費	20,000	会場借上料	20,000
会報費	1,010,000		1,010,000
印刷費	600,000	200,000×3回	600,000
原稿整理費	180,000	60,000×3回	180,000
編集校正費	150,000	50,000×3回	150,000
執筆原稿費	80,000		80,000
事務局費	1,850,000		1,760,000
交通費	150,000	農業開発研修センター事務局員等の交通費	100,000
通信費	190,000	会報発送等の通信費、HP運営費	190,000
印刷費	120,000	事業報告・計画書等の印刷費	80,000
事務委託費	1,290,000	農業開発研修センター等への支払い事務委託費	1,290,000
会議費	50,000	事務局会議の会場代等	50,000
雑費	50,000	監査経費等	50,000
予備費	459,162		322,732
合計	4,659,162		4,172,732

V 令和3年度会費基準の設定について

(1)個人会員	4,000円
(2)単協会員		
正組合員戸数	3,000戸未満 12,000円
	3,000～5,000戸未満 15,000円
	5,000～10,000戸未満 18,000円
	10,000～30,000戸未満 25,000円
	30,000～50,000戸未満 36,000円
	50,000戸以上 72,000円
注1) 正組合員戸数は、「令和3年版都道府県農業協同組合名鑑」(日本農業新聞、令和3年1月)記載の戸数(令和2年11月1日現在)に基づく。		
注2) 一般社団法人農業開発研修センター(以下、センターという。)と近畿農協研究会の会員となっている近畿6府県内JAについては、センターから当研究会への助成により、近畿農協研究会から会費を請求しない。		
(3)府県団体会員	50,000円
(4)全国団体会員	別 途
(5)准会員	10,000円